

# 2014年3月期 第2四半期決算説明会

西日本鉄道株式会社(9031)

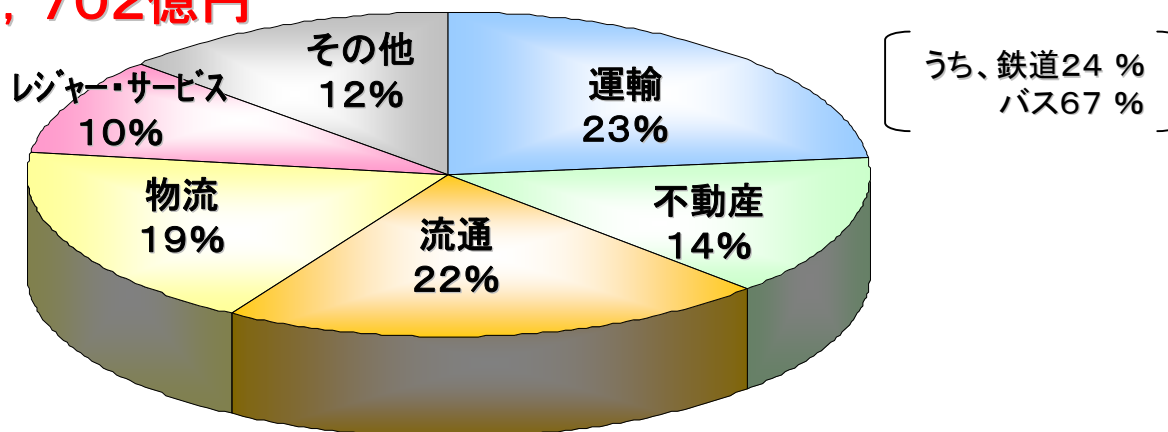
2013年11月15日(金)

# 連結営業概況(2014年3月期第2四半期)



- ◎ グループ会社 : 子会社75社、関連会社9社
- ◎ 特長
  - ◇ 福岡を事業基盤とする生活関連企業…運輸業、不動産業、流通業など
  - ◇ 西鉄ブランドを基盤に域外展開…国際物流事業、ホテル事業など

## 連結営業収益 1,702億円



セグメント	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・サービス業	その他
営業収益	424億円	271億円	404億円	360億円	188億円	224億円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 鉄道</li> <li>➢ バス</li> <li>➢ タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 賃貸</li> <li>➢ 分譲</li> <li>➢ 管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ストア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国際物流</li> <li>➢ 国内物流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ホテル</li> <li>➢ 旅行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 車両整備</li> <li>➢ 建設</li> </ul>

# 連結損益の実績(全業)



	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	1,702億円	1,647億円	55億円	3.4%
営業利益	92億円	80億円	13億円	15.8%
経常利益	87億円	70億円	16億円	22.9%
四半期純利益	49億円	37億円	11億円	30.3%
減価償却費	89億円	96億円	▲7億円	▲7.3%
EBITDA	182億円	177億円	5億円	3.0%
設備投資	100億円	64億円	35億円	54.8%

➤ 営業収益(増収)

- 不動産分譲事業 …… リノベーションマンションを含む分譲マンション販売戸数の増
- 国際物流事業 …… 為替変動による円換算額の増

➤ 営業利益・経常利益・四半期純利益(各利益とも増益)

- ホテル事業 …… 既存ホテルの稼働率向上
- その他 …… 建設関連の事業等での受注増

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)

※ 設備投資は単純集計です。

※ 記載金額は単位未満を四捨五入。ただし、1億円に満たない金額は小数点表示。

# セグメント別損益状況

# 1. 運輸業



	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	424億円	424億円	▲0.4億円	▲0.1%
営業利益	27億円	25億円	3億円	10.3%
減価償却費	41億円	45億円	▲4億円	▲8.6%
E B I T D A	68億円	70億円	▲1億円	▲1.9%
設備投資	33億円	18億円	15億円	83.6%

- 営業収益の主な増減要因
  - 鉄道・バス事業で増収
  - タクシー・運輸関連事業で減収
- 営業利益の主な増減要因
  - 減価償却費等の費用の減少

# ～ 鉄道事業（運輸業の内訳）～



	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	112億円	112億円	0.1億円	0.2%
営業利益	16億円	16億円	▲0.0億円	▲0.0%
旅客収入	104億円	104億円	▲0.0億円	▲0.1%
旅客人員	53百万人	52百万人	0.3百万人	0.6%
（定期外）	23百万人	24百万人	▲0.0百万人	▲0.3%
（定期）	29百万人	29百万人	0.4百万人	1.4%

▶ 天神大牟田線旅客人員 +0.4%

- 定期外 ▲0.6%
- 定期 +1.2%

▶ 貝塚線旅客人員 +4.0%

- 定期外 +2.2%
- 定期 +5.8%

# ～ バス事業（運輸業の内訳）～



	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	313億円	312億円	(注) 1億円	0.3%
営業利益	10億円	8億円	3億円	35.0%

(注)バス事業内取引を除くと0.5億円(0.2%増)の増収です。

乗合収入	246億円	247億円	▲1億円	▲0.3%
貸切収入	21億円	22億円	▲1億円	▲2.9%

乗合旅客人員	136百万人	136百万人	0.1百万人	0.1%
(定期外)	77百万人	78百万人	▲1百万人	▲0.9%
一般	73百万人	74百万人	▲1百万人	▲1.0%
高速	4百万人	3百万人	0.0百万人	1.0%
(定期)	59百万人	59百万人	1百万人	1.4%

## 2. 不動産業

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	271億円	248億円	23億円	9.3%
営業利益	46億円	45億円	1億円	1.3%
減価償却費	28億円	29億円	▲1億円	▲2.5%
E B I T D A	75億円	75億円	▲0.4億円	▲0.5%
設備投資	40億円	20億円	20億円	99.8%

▶ 営業収益・利益の主な増減要因

- 不動産分譲事業 … リノベーションマンション販売戸数の増加



# ～不動産業の内訳～



## 《不動産賃貸事業》

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	135億円	132億円	3億円	2.2%
営業利益	33億円	32億円	1億円	3.8%

## 《不動産分譲事業》

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	99億円	78億円	21億円	27.1%
営業利益	10億円	11億円	▲1億円	▲7.0%
販売戸数	315区画	259区画	56区画	21.6%
(マンション)	130戸	117戸	13戸	11.1%
(戸 建)	132区画	129区画	3区画	2.3%
(リノベーション)	53戸	13戸	40戸	307.7%

### 3. 流通業

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	404億円	405億円	▲1億円	▲0.2%
営業利益	2億円	▲1億円	2億円	—
減価償却費	5億円	5億円	0.4億円	9.1%
E B I T D A	7億円	4億円	3億円	70.9%
設備投資	7億円	13億円	▲6億円	▲44.6%

▶ 営業収益の主な増減要因

- ストア事業 … 店舗の改装・建替による増収  
競合店の影響による既存店の減収

▶ 営業利益の主な増減要因

- ストア事業 … 粗利率の改善、除却費等の減

## 4. 物 流 業

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営 業 収 益	360億円	341億円	19億円	5.5%
営 業 利 益	8億円	10億円	▲2億円	▲18.3%
減 価 償 却 費	3億円	3億円	0.1億円	3.3%
E B I T D A	12億円	13億円	▲2億円	▲13.1%
設 備 投 資	2億円	1億円	1億円	82.8%

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- 国際物流事業 … 日本・アジアをはじめ世界的に航空貨物の取扱高が減少  
為替変動による円換算額の増加

# ～物流業の内訳～



## 《国際物流事業》

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	356億円	334億円	(注) 22億円	6.7%
営業利益	8億円	10億円	(注) ▲2億円	▲15.8%

(注)円換算額の増加を除くと営業収益は24億円(7.1%減)の減収、営業利益は3億円(31%減)の減益です。

航空輸出(重量)	54千トン	60千トン	▲5千トン	▲9.6%
航空輸入(件数)	177千件	188千件	▲11千件	▲6.0%
海運輸出(TEU)	24千TEU	22千TEU	1千TEU	5.5%
海運輸入(TEU)	29千TEU	27千TEU	1千TEU	6.8%

※参考(海外子会社取扱高)

航空輸出(重量)	30千トン	34千トン	▲3千トン	▲10.3%
航空輸入(件数)	121千件	131千件	▲10千件	▲7.8%
海運輸出(TEU)	16千TEU	16千TEU	▲1千TEU	▲3.7%
海運輸入(TEU)	18千TEU	15千TEU	3千TEU	20.0%

## 5. レジャー・サービス業

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	188億円	181億円	7億円	4.1%
営業利益	9億円	5億円	4億円	77.3%
減価償却費	10億円	11億円	▲1億円	▲7.4%
EBITDA	19億円	16億円	3億円	19.4%
設備投資	7億円	6億円	1億円	14.1%

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- ホテル事業 … 既存ホテルの稼働率向上、ソラリア西鉄ホテル鹿児島の稼働等により増収・増益

# ～レジャー・サービス業の内訳～



《ホテル事業》 (注)ホテル事業内取引を除くと5億円(7.8%増)の増収です。

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	104億円	97億円	(注) 8億円	7.8%
営業利益	5億円	1億円	4億円	331.3%

《旅行事業》

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	19億円	22億円	▲2億円	▲10.9%
営業利益	▲1億円	0.1億円	▲1億円	—

《その他レジャー・サービス業》

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	99億円	95億円	5億円	5.0%
営業利益	5億円	4億円	1億円	37.8%

・その他レジャー・サービス業…・娯楽事業、飲食事業、広告事業、その他サービス事業

## 6. その他

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減	増減率
営業収益	224億円	206億円	17億円	8.3%
営業利益	1億円	▲4億円	5億円	—
減価償却費	4億円	6億円	▲2億円	▲36.9%
E B I T D A	5億円	3億円	3億円	93.5%
設備投資	10億円	6億円	4億円	63.9%

▶ 営業収益の主な増減要因

- 建設関連、車両整備関連事業での受注増等

▶ 営業利益の主な増減要因

- ICカード事業での減価償却費の減等

・その他・・・ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業、金属リサイクル事業

# 連結貸借対照表



		2013/9月末	2013/3月末	増 減
資産	流動資産	877億円	919億円	▲42億円
	固定資産	3,238億円	3,221億円	17億円
	合計	4,114億円	4,140億円	▲26億円
負債・純資産	流動負債	1,185億円	1,140億円	45億円
	固定負債	1,675億円	1,805億円	▲130億円
	(有利子負債残高)	1,657億円	1,662億円	▲5億円
	負債合計	2,860億円	2,945億円	▲85億円
	純資産合計	1,254億円	1,195億円	59億円
合計		4,114億円	4,140億円	▲26億円

➤ 資産の主な増減要因

- 受取手形及び売掛金の減少
- 土地、投資有価証券の増

➤ 負債の主な増減要因

- 支払手形及び買掛金の減
- 長期借入金の減

➤ 純資産の主な増減要因

- 四半期純利益の計上等による増



# 連結キャッシュ・フロー



	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増 減
営 業 活 動	105億円	78億円	27億円
（税引前四半期純利益）	87億円	68億円	19億円
（減価償却費）	89億円	96億円	▲7億円
（法人税等支払額）	▲24億円	▲46億円	23億円
投 資 活 動	▲105億円	▲83億円	▲22億円
（固定資産の取得）	▲146億円	▲107億円	▲39億円
財 務 活 動	▲21億円	▲48億円	27億円
（借入金・社債）	▲5億円	▲32億円	28億円
現金等の四半期末残高	283億円	281億円	2億円

# 2013年度 中期経営計画の取組み状況

# 第13次中計の位置づけ



将来ビジョン2018『弛まぬ変革』  
～高品質、高付加価値の追求～



<グループビジョン>

## 「グループ総合力の発揮による成長への挑戦」

～新しい市場の開拓に挑戦します～

～商品・サービスの価値を高め、選ばれる沿線づくりを推進します～

重  
点  
戦  
略

1. 新たな収益源の開拓

2. 強固な収益基盤の確立

3. グループ総合力発揮のための体制整備

4. CSR経営を文化とする企業風土の定着

# 《1. 新たな収益源の開拓》 国際物流ビジネスの拡大

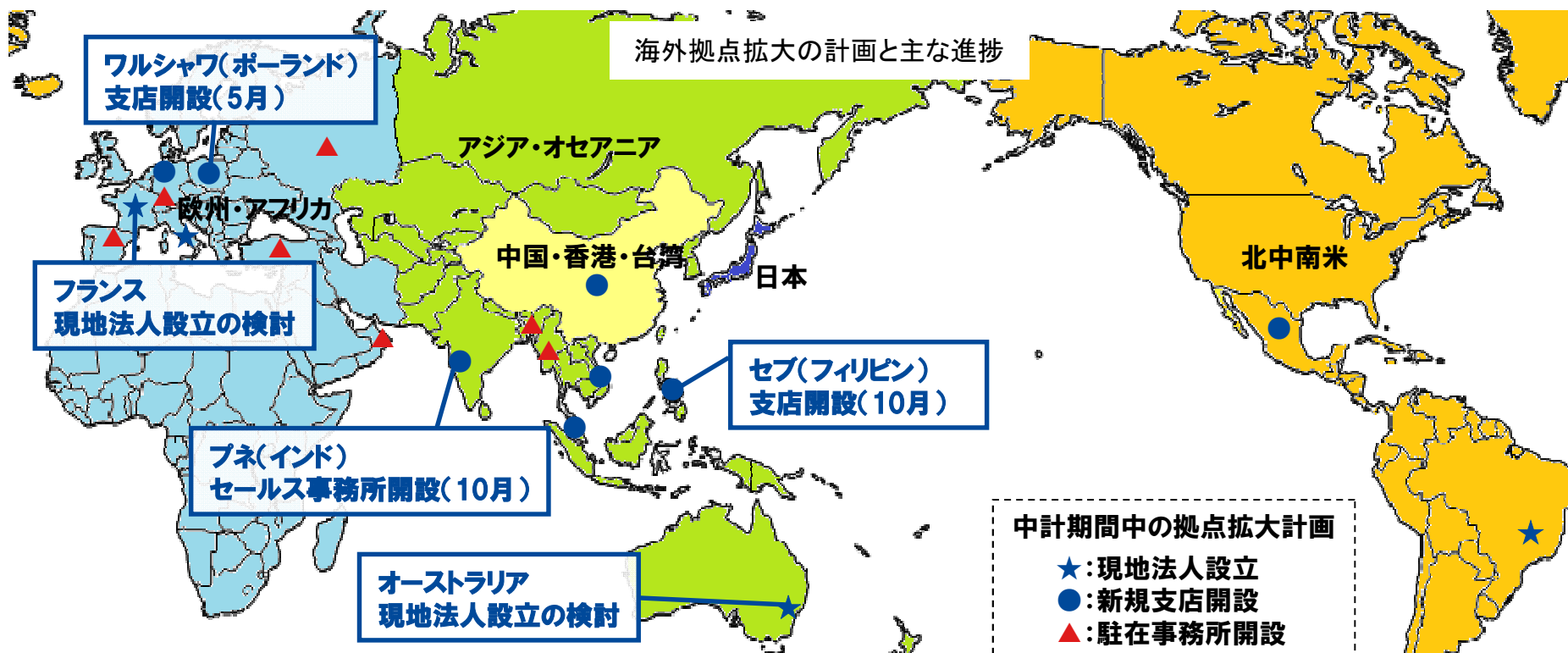
## 海外拠点の拡大

### ◆ 海外ネットワークの拡充

- ▶ ポーランド、インド、フィリピンに拠点開設
- ▶ フランス、オーストラリアに現地法人設立検討

海外拠点数推移

	2012年度 実績	2013年度 予定	2015年度 計画
国数	24カ国	24カ国	<b>31カ国</b>
都市数	88都市	91都市	<b>116都市</b>



# 《1. 新たな収益源の開拓》 国際物流ビジネスの拡大

## 総合ロジスティクスプロバイダー化の推進

### ◆ 海運事業の強化

- 自社定期混載仕向け地の拡大

### ◆ ロジスティクス事業の強化

- りんくうロジスティクスセンターの増設(2014年8月竣工予定)

りんくうロジスティクスセンター第二倉庫イメージ



	既存棟	新棟	合計
敷地面積	4,619㎡	4,620㎡	9,239㎡
延床面積	7,041㎡	10,880㎡	17,921㎡



# 《1. 新たな収益源の開拓》 業態や事業エリアの拡大

## 分譲マンション

### ◆ マンションの建替・リノベーション事業の拡大

- 藤崎住宅(団地型共同住宅)の建替え(2015年2月竣工予定)
- リノベーション事業の規模拡大

### ◆ 分譲マンションの首都圏エリアへの進出

- 「浦和常盤ザ・レジデンス」の建設・販売(2014年2月竣工予定)
- 首都圏事業課の新設



# 《1. 新たな収益源の開拓》 業態や事業エリアの拡大

## シニアマンション

### ◆ シニアマンションの拡大

- 「サンカルナ小倉大手町」の開業  
(2013年6月22日)
- 「サンカルナ福岡城南」の建設  
(2014年9月末竣工予定)



## ホテル

### ◆ ソラリア西鉄ホテルの新規出店推進

## 雑貨館インキューブ

### ◆ 出店エリアの拡大

- 4号店「パークプレイス大分店」オープン  
(2013年6月21日)
- 5号店「させぼ五番街店」の出店  
(2013年11月29日オープン予定)
- 6号店「サンリブ小倉店」の出店  
(2014年3月下旬オープン予定)





# 《1. 新たな収益源の開拓》 新規事業の開発

## 新たなビジネスモデルの開拓

### ◆ 生活支援サービス事業の展開

- 第1号店「ベンリーにしてつ大橋店」営業開始  
(2013年5月23日)

### ◆ PPP事業への参入

- 福岡市中央児童会館等建替え整備事業の  
優先交渉権者に決定(2013年6月10日)

### ◆ 再生可能エネルギー事業の展開

- 筑紫太陽光発電所の運用開始(2013年7月26日)
- バス営業所跡地への太陽光発電所の新設(2014年2月予定)

### ◆ 地域との連携による農業関連事業(6次産業)への参入

- 第1弾「あまおうプレミアムスパークリングワイン」の企画・販売  
(2013年6月22日販売開始)

### ◆ 住替え事業の展開

- シニア・女性向け暮らしのセミナーの開催(隔月)



ベンリーにしてつ大橋店



あまおうプレミアム  
スパークリングワイン

## 《2. 強固な収益基盤の確立》

# 天神エリアのプレゼンスアップに向けた取組み



### ソラリア街区の一体的改造の推進

#### ◆ ソラリアプラザビルの大規模改造

第一弾リニューアル(2013年9月14日オープン)

南側外壁のガラス化・南側テナント部分の刷新

ホテルロビー6階移設・レストランフロア刷新

1階ホテルロビー跡店舗化

地下2階の店舗化・エスカレーター増設 など

地下2階と地下街通路の接続

## 第2の創業を実現(2015年)

総投資額: 約 **60** 億円(2013~2015)



➤ 館内共用スペースの改修(3階・5階)



館内共用スペース 改修後(5階)

➤ お客さま用トイレの改修(4階・5階)

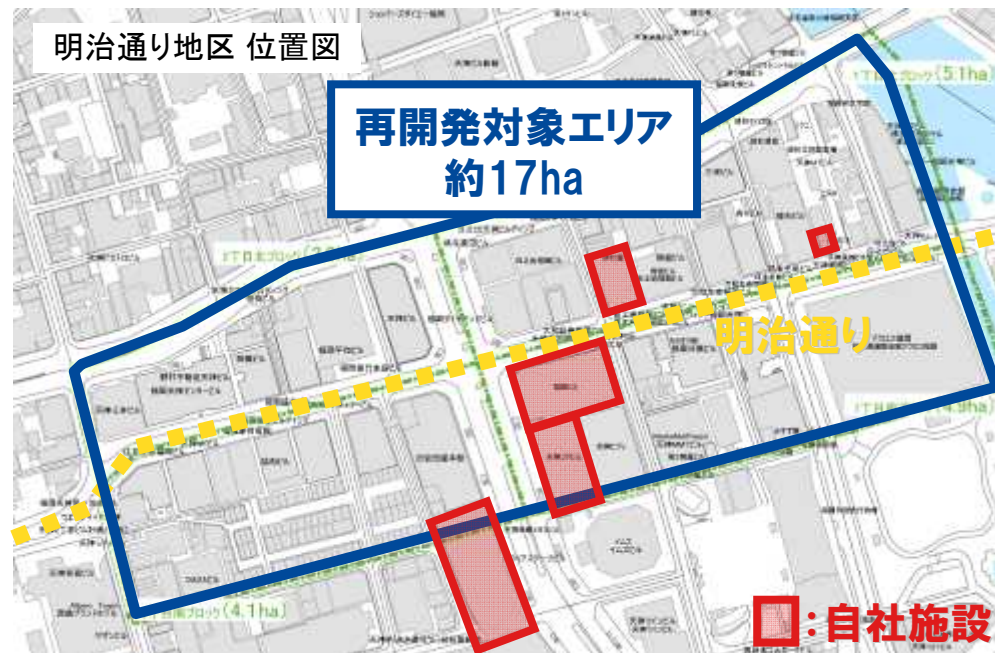
➤ 全テナントの約4割(48店舗)の一新

## 《2. 強固な収益基盤の確立》 天神エリアのプレゼンスアップに向けた取組み

### 天神地区の将来の再開発に向けた取組み

#### ◆「天神明治通り街づくり協議会」の推進

- 地区計画(方針)の都市計画決定・告示(2013年9月9日)
- グランドデザイン実現に向けた取組み推進

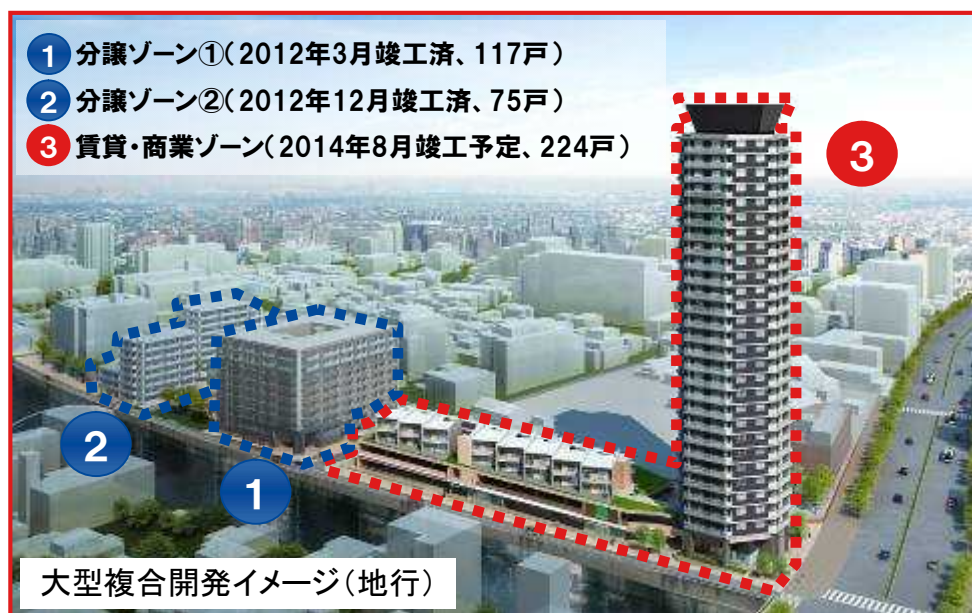




## 《2. 強固な収益基盤の確立》 選ばれる西鉄沿線の創造

### 沿線のまちづくり推進

- ◆ 大型複合開発の推進(福岡市中央区地行)
- ◆ コンパクトシティモデルの開発(三国が丘)
- ◆ 賃貸マンションの開発  
(福岡市:薬院、地行、高宮)



## 《2. 強固な収益基盤の確立》 スーパーマーケット事業の体質強化



### 店舗ブランドの確立

- ◆ 売場・商品の改善(生鮮・惣菜部門の強化)
- ◆ 高齢者へのサービス強化
  - ▶ お客さまサポート係「コンシェルジュ」の配置(2013年7月1日)

### 新業態の展開

- ◆ 都市型小型店の新設
  - ▶ 第1号店のオープン(2014年3月予定)

### 構造改革の推進

- ◆ 販売管理費の圧縮
- ◆ 赤字店舗の対策実行
  - ▶ 閉鎖・建替え・改装等による収支改善策の実施



### 地元有力食品スーパーとの提携

- ◆ (株)マルキョウとの資本・業務提携に向けた基本合意(2013年9月4日)

## 《2. 強固な収益基盤の確立》 インバウンドの取組み強化

### 韓国での商品販売・PRの強化

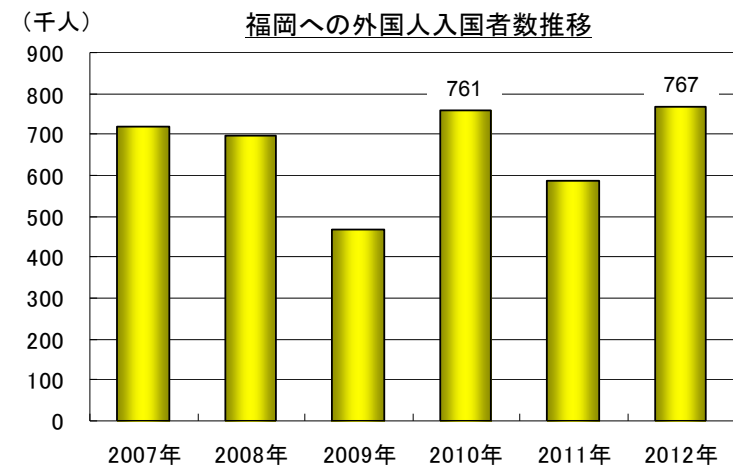
- ◆ バスフリー乗車券の販売強化
  - ▶ 韓国旅行会社との関係強化
  - ▶ 各種商品の販促キャンペーンの実施



九州のバス乗り放題乗車券「SUNQパス」

### 外国人旅行者向け交通サービスの利便性向上

- ◆ 福岡空港国際線ターミナルと福岡都心部を結ぶバスの運行
  - ▶ 「国際線ターミナル～博多駅」線を天神エリアまで延伸(2013年3月16日)
  - ▶ 需要に合わせたダイヤ増便などの検討
- ◆ FUKUOKA TOURIST CITY PASSの本格発売(2013年10月1日～)
  - ▶ 外国人旅行者を対象とした福岡市内公共交通1日フリー乗車券(5ヶ国語対応)
  - ▶ 西鉄、JR九州、昭和自動車、福岡市交通局が連携



<出典>法務省 出入国管理統計統計表(数値は福岡空港・博多港の合算値)

## 《2. 強固な収益基盤の確立》 交通サービスの利便性向上

### 新高速乗合バス制度移行を契機とした需要取り込み

- ◆ 高速バス予約システムの刷新
  - ▶ 「WEB割」「WEB早割」等のWEB運賃プラン導入

### 天神バスセンターのリニューアル

- ◆ 内装デザインの一新
- ◆ 待合スペースの整備・拡張
- ◆ 情報・案内機能の強化 など

### 乗り継ぎ促進によるバス路線再編

- ◆ 「西鉄大橋駅」を乗り継ぎ拠点とした路線再編(2013年11月2日)

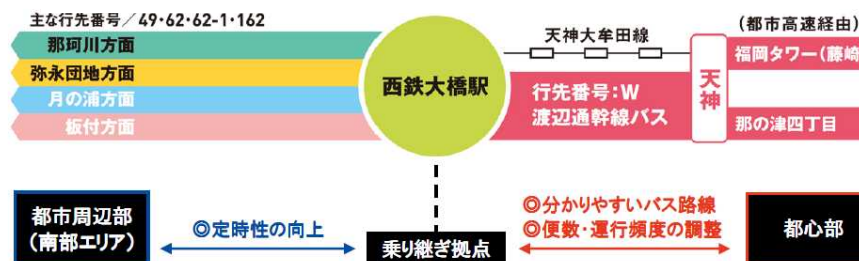
### 鉄道・バスの連携による商品開発

- ◆ 福岡都心ダブルバスの発売  
(2013年10月1日～)

- ▶ 福岡都心部の西鉄電車とバスが乗り放題となる定期券



### 「西鉄大橋駅」を乗り継ぎ拠点とした路線再編概要





## 《3. グループ総合力発揮のための体制整備》

- ◆ グループ事業の再編
- ◆ 鉄道・バスの連携体制の構築
- ◆ 業績評価制度の見直し
- ◆ 人事賃金制度刷新の検討
- ◆ ブランド戦略の構築

## 《4. CSR経営を文化とする企業風土の定着》

- ◆ 安全・リスクマネジメントの継続的实施
- ◆ 地域・社会との共生、CSの向上
- ◆ 環境マネジメントの取組み推進



CSRLレポート



# 2014年3月期 収支予想及び投資計画

# 2014年3月期 連結収支予想



	2014/3 (予想)	2013/3 (実績)	増減額	増減率
営業収益	3,480億円	3,384億円	96億円	2.8%
営業利益	180億円	176億円	4億円	2.4%
経常利益	168億円	162億円	6億円	3.8%
当期純利益	96億円	92億円	4億円	4.4%
減価償却費	189億円	197億円	▲9億円	▲4.4%
EBITDA	371億円	376億円	▲5億円	▲1.4%
設備投資	321億円	195億円	126億円	64.9%

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)

※ 設備投資は単純集計です。

※ 記載金額は単位未満を四捨五入。ただし、1億円に満たない金額は小数点表示。

# 2014年3月期 セグメント別収支予想



		2014/3 (予想)	2013/3 (実績)	増減額	営業利益の増減要因
運 輸 業	営業収益	840億円	840億円	▲0.1億円	● バス事業の増益 (減価償却費等の費用の減)
	営業利益	50億円	46億円	4億円	
不 動 産 業	営業収益	589億円	548億円	41億円	● 賃貸事業の減益 (修繕・除却費等の費用の増)
	営業利益	94億円	99億円	▲5億円	
流 通 業	営業収益	802億円	810億円	▲8億円	● ストア事業の減益 (スクラップ&ビルドによる費用増)
	営業利益	▲1億円	▲0.4億円	▲1億円	
物 流 業	営業収益	732億円	700億円	32億円	● 国際物流事業の増益 (円換算額の増)
	営業利益	20億円	18億円	2億円	
レジャー・サービス業	営業収益	382億円	370億円	12億円	● ホテル事業の増益 (稼働率の向上)
	営業利益	15億円	14億円	1億円	
そ の 他	営業収益	489億円	467億円	22億円	● ICカード事業の損失縮小 (減価償却費の減少)
	営業利益	6億円	5億円	1億円	

# <参考> 2014年3月期 セグメント別予想(減価償却費・EBITDA・設備投資)



		2014/3(予想)	2013/3(実績)	増減額
運 輸 業	減 価 償 却 費	89億円	94億円	▲5億円
	E B I T D A	139億円	140億円	▲1億円
	設 備 投 資	106億円	97億円	10億円
不 動 産 業	減 価 償 却 費	58億円	58億円	▲0.3億円
	E B I T D A	153億円	159億円	▲5億円
	設 備 投 資	126億円	46億円	80億円
流 通 業	減 価 償 却 費	11億円	10億円	1億円
	E B I T D A	11億円	10億円	0.3億円
	設 備 投 資	24億円	23億円	2億円
物 流 業	減 価 償 却 費	7億円	7億円	0.2億円
	E B I T D A	27億円	24億円	3億円
	設 備 投 資	18億円	5億円	13億円
レジャー・サービス業	減 価 償 却 費	21億円	22億円	▲1億円
	E B I T D A	36億円	36億円	▲0.1億円
	設 備 投 資	25億円	9億円	16億円
そ の 他	減 価 償 却 費	10億円	13億円	▲4億円
	E B I T D A	16億円	18億円	▲2億円
	設 備 投 資	22億円	16億円	6億円

# <参考> 2014年3月期 主なセグメント収支予想

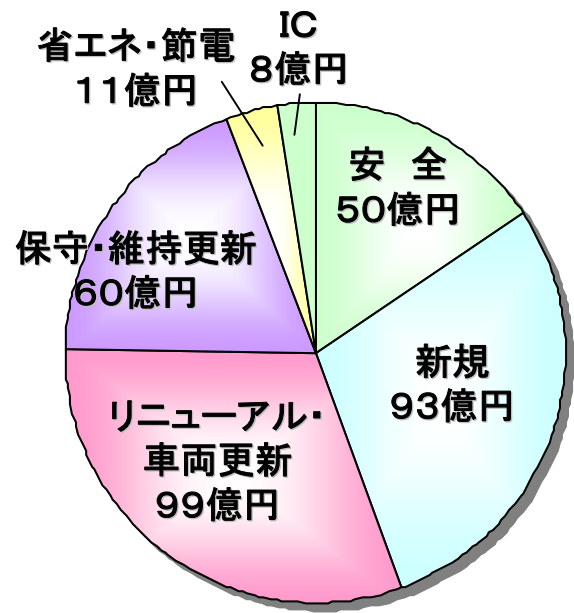


			2014/3 (予想)	2013/3 (実績)	増減額
運輸業	鉄道事業	営業収益	225億円	224億円	1億円
		営業利益	33億円	33億円	0.4億円
	バス事業	営業収益	617億円	617億円	0.2億円
		営業利益	16億円	12億円	4億円
不動産業	不動産賃貸事業	営業収益	275億円	273億円	2億円
		営業利益	60億円	67億円	▲8億円
	不動産分譲事業	営業収益	238億円	201億円	37億円
		営業利益	30億円	27億円	3億円
物流業	国際物流事業	営業収益	733億円	692億円	40億円
		営業利益	19億円	17億円	2億円
サービス業 レジャー	ホテル事業	営業収益	210億円	200億円	10億円
		営業利益	9億円	8億円	1億円
	旅行事業	営業収益	41億円	43億円	▲2億円
		営業利益	1億円	1億円	0.0億円

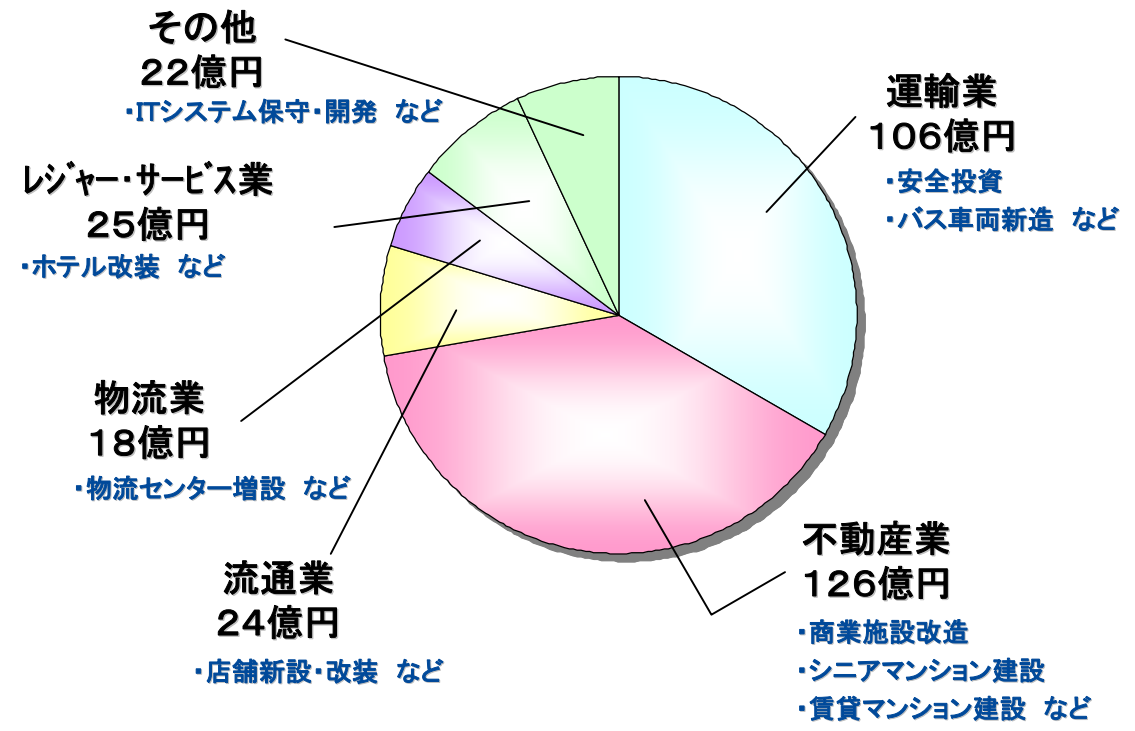
# 2014年3月期 設備投資計画

**【2014年3月期 総投資額 321億円】**

## ◎ 投資種別の内訳



## ◎ セグメント別の内訳



## ◎ 投資額の推移

年度	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3計画
総投資額	265億円	265億円	194億円	195億円	321億円

《参考》2014年3月期第2四半期 連結損益実績(百万円単位)

・連結損益実績

(単位:百万円、%)

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減額	増減率
営業収益	170,192	164,665	5,526	3.4
営業利益	9,216	7,957	1,258	15.8
経常利益	8,655	7,045	1,610	22.9
四半期純利益	4,877	3,743	1,134	30.3

・セグメント別 営業収益・営業利益

	営業収益				営業利益			
	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減額	増減率	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減額	増減率
運輸業	42,365	42,406	▲ 40	▲ 0.1	2,710	2,456	253	10.3
不動産業	27,081	24,770	2,311	9.3	4,570	4,510	59	1.3
流通業	40,399	40,500	▲ 100	▲ 0.2	150	▲ 98	248	-
物流業	35,950	34,083	1,867	5.5	830	1,016	▲ 186	▲ 18.3
レジャー・サービス業	18,802	18,065	736	4.1	892	503	389	77.3
その他	22,366	20,648	1,718	8.3	132	▲ 365	497	-
調整額	▲ 16,774	▲ 15,809	▲ 965	-	▲ 70	▲ 66	▲ 3	-
連結	170,192	164,665	5,526	3.4	9,216	7,957	1,258	15.8

・サブセグメント別 営業収益

	2014/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減額	増減率
鉄道事業	11,234	11,215	18	0.2
バス事業	31,289	31,206	82	0.3
タクシー事業	1,956	1,999	▲ 42	▲ 2.1
運輸関連事業	2,204	2,267	▲ 63	▲ 2.8
消去	▲ 4,320	▲ 4,283	▲ 37	-
<b>運輸業</b>	42,365	42,406	▲ 40	▲ 0.1
不動産賃貸事業	13,488	13,204	283	2.2
不動産分譲事業	9,875	7,772	2,103	27.1
その他不動産事業	5,092	4,936	156	3.2
消去	▲ 1,374	▲ 1,142	▲ 232	-
<b>不動産業</b>	27,081	24,770	2,311	9.3
ストア事業	40,957	40,568	389	1.0
消去	▲ 558	▲ 68	▲ 489	-
<b>流通業</b>	40,399	40,500	▲ 100	▲ 0.2
国際物流事業	35,646	33,417	2,229	6.7
国内物流事業	4,500	4,862	▲ 362	▲ 7.4
消去	▲ 4,197	▲ 4,196	▲ 0	-
<b>物流業</b>	35,950	34,083	1,867	5.5
ホテル事業	10,422	9,668	753	7.8
旅行事業	1,947	2,184	▲ 237	▲ 10.9
娯楽事業	1,671	1,534	136	8.9
飲食事業	2,065	2,076	▲ 11	▲ 0.5
広告事業	3,468	3,357	111	3.3
その他サービス事業	2,724	2,484	240	9.7
消去	▲ 3,496	▲ 3,240	▲ 256	-
<b>レジャー・サービス業</b>	18,802	18,065	736	4.1
ICカード事業	327	314	12	4.1
車両整備関連事業	14,143	13,652	491	3.6
建設関連事業	6,008	5,198	810	15.6
金属リサイクル事業	2,209	1,963	245	12.5
消去	▲ 321	▲ 480	158	-
<b>その他</b>	22,366	20,648	1,718	8.3



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。